

(参考) 幼児期の教育・保育の需給計画及び教育・保育等に従事する者の実績値及び計画値の推移について

1 幼児期の教育・保育の需給計画の実績値及び計画値の推移

令和元年度の実績値の算出は、令和2年度以降の実績値の算出方法(※)と同様の方法による各市町村の実績値を集計した。

※ 「参考資料3 実績値(需要量、供給量)」の需要量及び供給量について、それぞれ「2 現行プランの実績値(案)」参照

<旧プランからの主な変更点>

- ・ 需要量(2号・3号)の実績値について、「支給認定者数」を「保育所等利用申込者数」に変更
- ・ 保育ニーズのある幼稚園及び預かり保育の利用児童数は1号から除き、2号の実績値に変更

【令和元年度実績値】

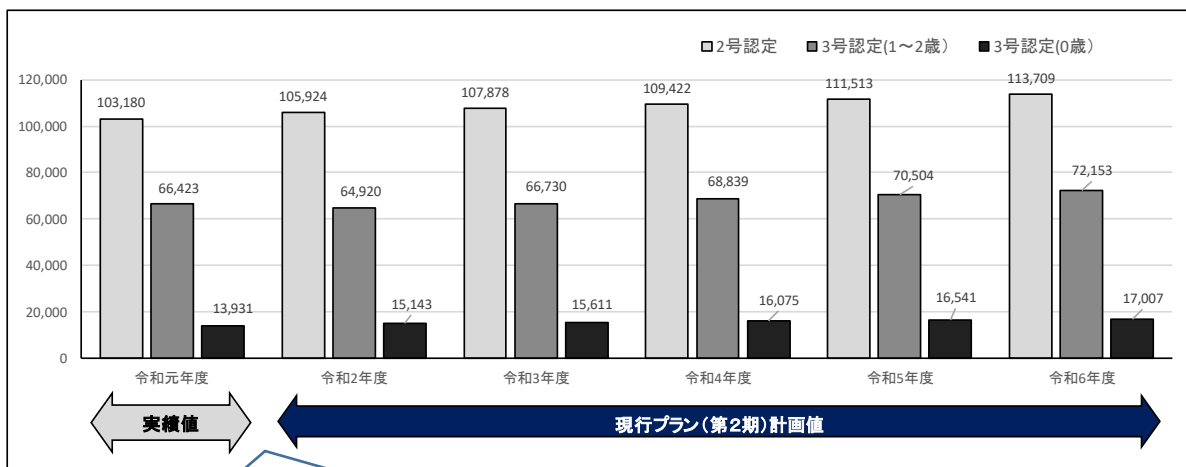
(単位:人)

	3~5歳 (1号:教育希望)	3~5歳 (2号:保育希望)	0~2歳 (3号:保育希望)			計
			0歳	1~2歳	小計	
①需要量(実績値)	105,427	103,180	13,931	66,423	80,354	288,961
②供給量(実績値)	133,735	106,155	15,484	59,814	75,298	315,188
②-①(需給差)	28,308	2,975	1,553	▲ 6,609	▲ 5,056	26,227
②/①(需要量に対する供給量の割合)	126.9%	102.9%	111.1%	90.1%	93.7%	109.1%

- ① 需要量 1号 : 幼稚園等の利用児童数 (R1年4月1日 ※市町村によっては5月1日)
2号・3号 : 保育所等利用申込者数等 (R1年4月1日)
- ② 供給量 1号 : 幼稚園等の利用定員数等 (R1年4月1日 ※市町村によっては5月1日)
2号・3号 : 利用定員数等 (R1年4月1日)
- ※ 「幼稚園及び預かり保育」の利用児童数のうち、保育ニーズのある利用児童数は、2号の実績値とした。

【保育希望(2号・3号認定)の実績値及び計画値の推移】

① 需要量

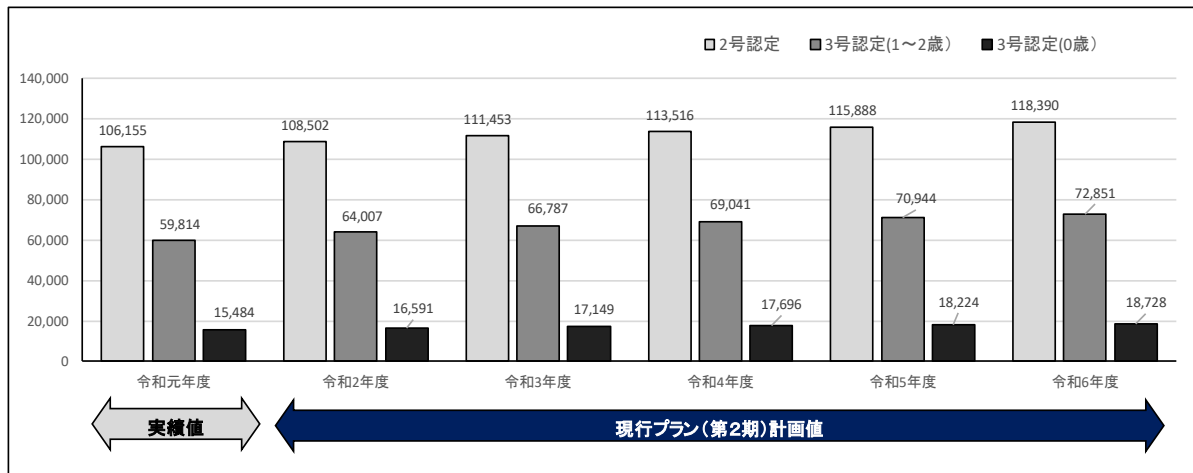


○3号(1~2歳)の実績値について

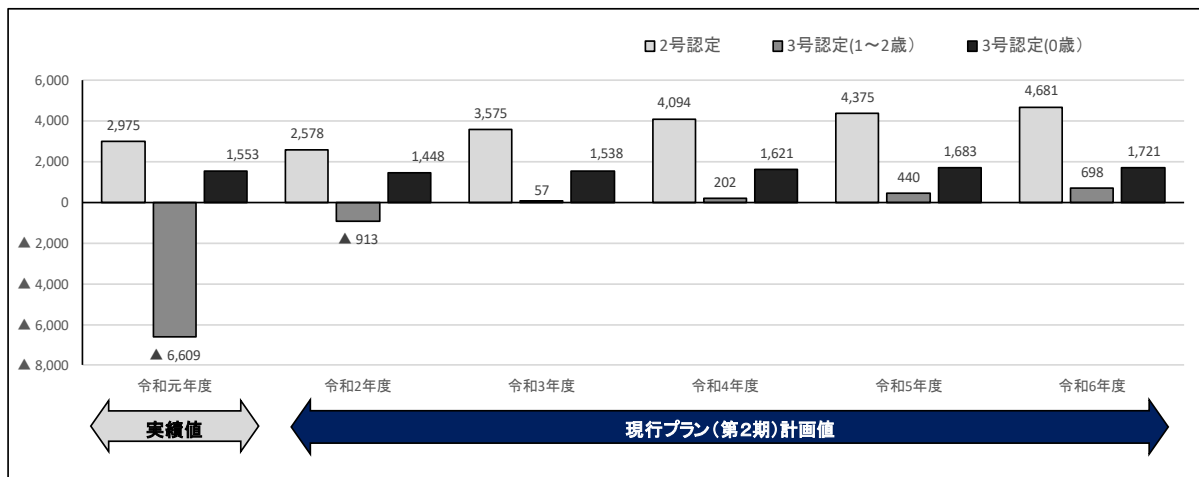
令和元年度の実績値(66,423)の実績値が令和2年度の計画値(64,920)を上回った。

※ 16市町村において令和2年度の計画値を上回る実績値となり、令和2年度における1~2歳児の需要量も計画値以上となる可能性あり。令和2年度の点検・評価においては、実績値について地域の状況を踏まえた分析を行う。

② 供給量

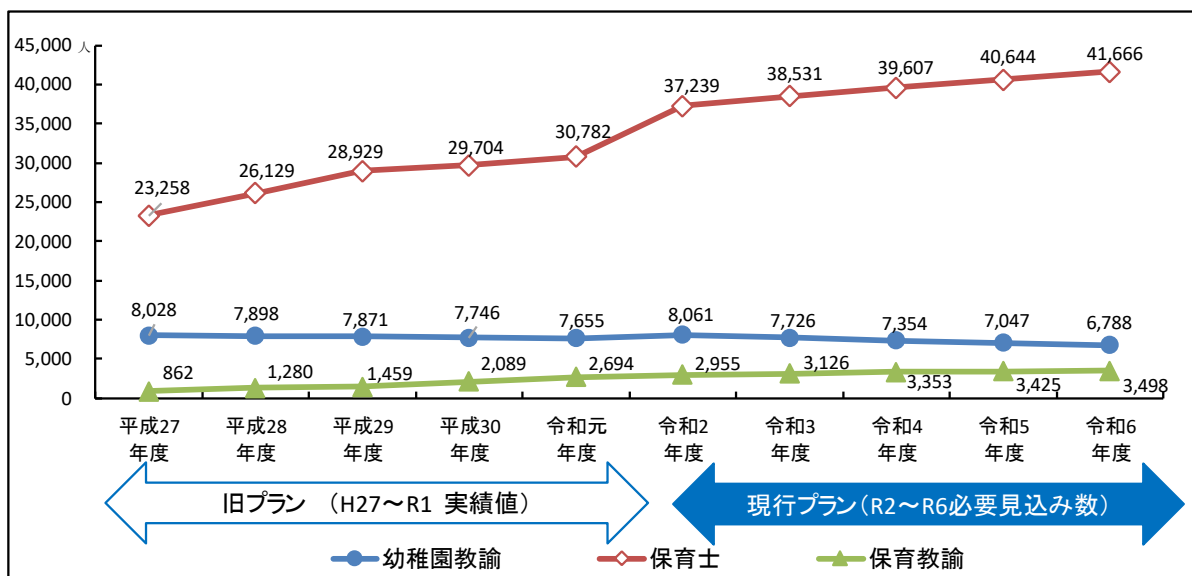


③ 需給差



2 教育・保育等に従事する者の実績値及び計画値の推移

保育ニーズの高まりにより、平成27年度より、保育士の実績値は毎年度増加している。



<計画値（必要見込み数）の算出について>

幼児期の教育・保育の需給計画において確保の内容として算出した各施設の利用定員数を基に、各施設・事業、年齢、職種ごとの配置基準（最低基準）及び加配率（配置基準を超えて配置されている職員数の割合）を見込んで算出した。

<令和2年度以降の保育士の必要見込み数について>

令和元年度の実績値 30,782 人に対し、令和2年度以降の必要見込み数は大きく増加している。これは、必要見込み数の算出の基となった令和2年度以降の幼児期の教育・保育の需給計画における利用定員数の増加見込みによる。